

【記載要領】本記載要領に基づき、研究開発提案書を作成、提出してください。

(様式 1)

日本医療研究開発機構 脳神経科学統合プログラム（個別重点研究課題）

研究開発提案書

e-Rad の記載と一致させてください。

研究開発課題名 (英語表記)	日本語表記 ○○に関する研究	英語表記 Study of ○○	1. 応募される公募枠をプルダウンからご選択ください。 2. e-Rad 上で応募する公募枠と一致させてください。 e-Rad 上で応募された公募枠と本提案書で選択された公募枠が異なる場合は、e-Rad 上で選択された公募枠で審査を行いますのでご注意ください。
公募名（事業名）	令和 6 年度 脳神経科学統合プログラム プルダウン選択（公募要領 2.1 項の一覧表 (P. 5~6) から選択）		
研究開発期間（全研究期間）	令和 6 年 8 月下旬（予定）～ 令和 XX 年 X 月 XX 日（X 年度間）		チーム型は、最長で「令和 12 年 3 月 31 日（6 年度間）」、ソロ型は、最長で「令和 9 年 3 月 31 日（3 年度間）」になります。
研究費総額 ※直接経費のみ	全研究期間での研究費総額（ XX.XXX 千円）		「7. 各年度別経費内訳」や e-Rad に記載した金額と一致させてください。
ヒト全ゲノムシーケンス解析	<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 実施 ※いずれかに☑。実施する場合は		1. 本枠に応募する場合には、「12. 【若手育成枠】公募対象者チェック欄」も記載してください。 2. e-Rad 上にも、本枠への応募に関するチェック欄がありますので、忘れずにチェックしてください。なお、本提案書と e-Rad の片方のみチェックされている場合には、e-Rad 上のチェックの有無で判断し審査を行いますのでご注意ください。
若手育成枠の確認 (公募枠 1-3, 2-2, 3-3, 4-2 のみ)	<input type="checkbox"/> 若手育成枠 ※若手研究者の要件に合致し		
認知症枠の確認 (公募枠 3-1, 3-2, 5-1, 5-2 のみ)	<input type="checkbox"/> 認知症枠 ※認知症枠に応募する場合は		
研究開発代表者	氏名	フリガナ	
		漢字	
		ローマ字表記	
	性別		
	生年月（年齢）		
	所属機関（正式名称）	○○法人○○大学	
	所属部署（部局）	○○学部○○学科	
役職	○○		
研究開発代表者の情報	https://www. . . . .		
研究開発代表者の研究歴 (主な職歴と研究内容)	本表全体（本欄まで）が 1 ページに収まるよう、簡潔に記載してください。		

注 提出する際には、青文字の記載例を削除してください。







#### 4. 研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

	氏名	所属機関※ <sup>1</sup>	現在の専門	令和6年度 研究経費※ <sup>2</sup> (千円)	エフ オー ト (%)
	生年月 (年齢:令和6 年4月1日時点)	所属部署 (部局) ※ <sup>1</sup>	学位 (最終学歴) 学位取得年		
		役職※ <sup>1</sup>	役割分担		
研究開発代表者	〇〇 〇〇	〇〇〇〇大学	△△△	X, XXX	XX
	S49/11 (XX)	△△△学部△△△学科	△△博士 (〇〇大学) H14年		
		△△△	研究の統括		
研究開発代表者		(主たる研究場所) ※ <sup>1</sup> △□大学		X, XXX	XX
		△△△学部△△△学科			
		□□□			
研究開発分担者	□□ 〇〇	△□大学	□□□	X, XXX	XX
	S50/11 (XX)	△△△学部△△△学科	〇〇博士 (□△大学) H15年		
		□□□	データの解析		
研究開発分担者		(主たる研究場所) ※ <sup>1</sup> △□大学		X, XXX	XX
		△△△学部△△△学科			
		□□□			
研究開発分担者	適宜、記入欄を増やし、全ての研究開発代表者について記載してください。				
計	2名		研究開発経費合計	X, XXX	

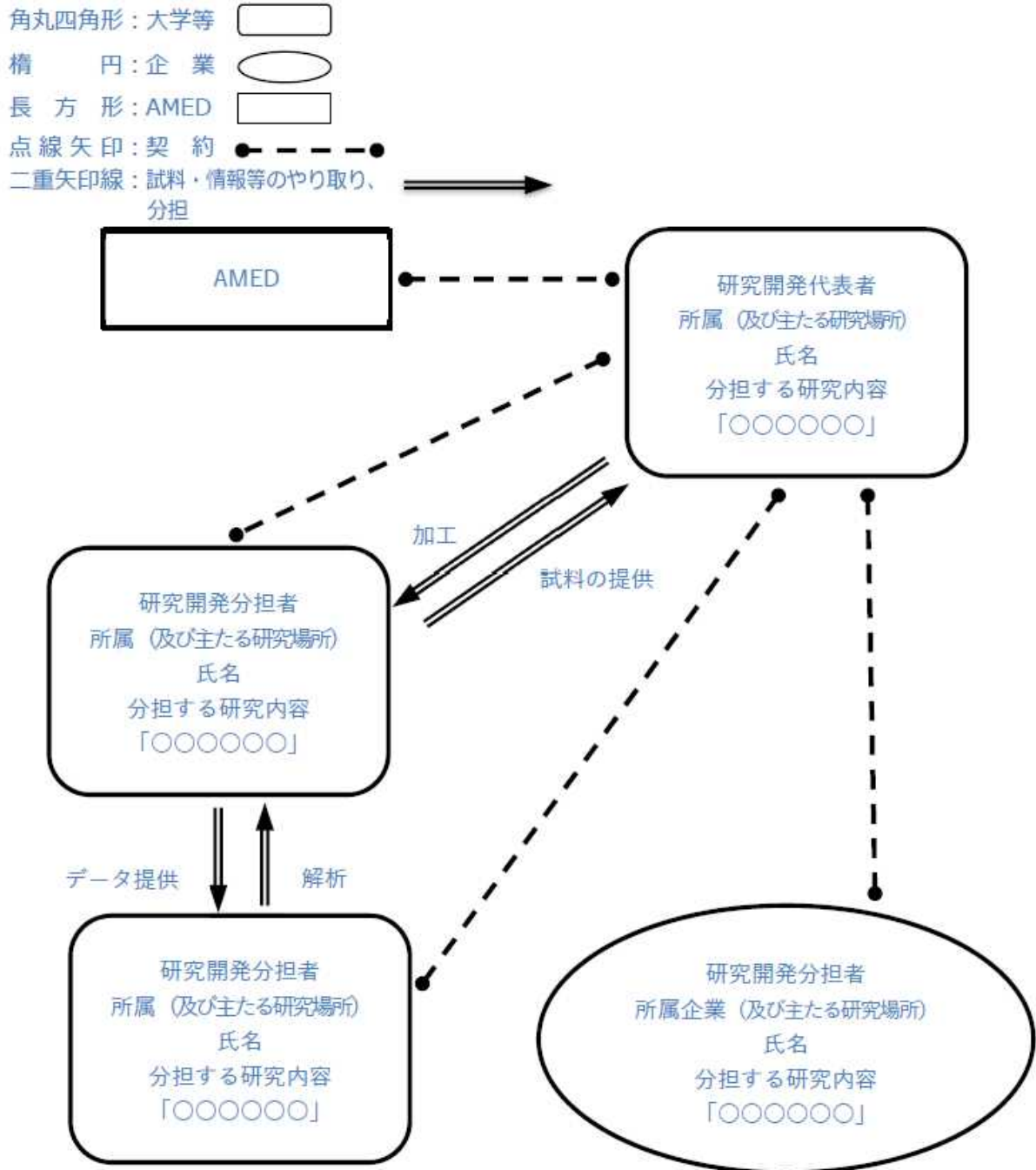
※<sup>1</sup> 所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署 (部局) 及び役職も記載してください。

※<sup>2</sup> 研究経費については、直接経費を記載してください。

## 5. 実施体制図

- 代表研究機関・分担研究機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、研究開発代表者・研究開発分担者が分担する研究内容、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。
- 下記の図は例示として画像データで貼り付けてありますので、提案書作成時には削除のうえ、適切なソフトで作られた体制図を下に貼り付けてください。

### 【体制図記載例】



## 6. 研究開発の主なスケジュール

- チーム型の研究開発課題に応募される方は (A) の表に、ソロ型の研究開発課題に応募される方は (B) の表に記載してください。(記載しなかった表については削除した上で、ご提出ください。)
- 目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。
- マイルストーン (達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項) を、下表に示す例示のように、▲で示してください。
- 項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。
- 別途 Excel で作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。なお、PDF 化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF 化後に必ずご確認ください。

### (A) チーム型

チーム型に応募される場合は、下表に記載してください。

(ソロ型に応募される場合は、本項 (表を含む) を削除してください。)

研究開発の主なスケジュール (ロードマップ)													
研究開発項目 ※マイルストーン	担当者 氏名	第 1 年度 (R6 年度)		第 2 年度 (R7 年度)		第 3 年度 (R8 年度)		第 4 年度 (R9 年度)		第 5 年度 (R10 年度)		第 6 年度 (R11 年度)	
		1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H
		(1) ○○関連遺伝子発現解析  ・アッセイ系の確立 ○○○○ ・発現データ解析 ○○○○											
(2)													
(3)													
(4)													
(5)													
(6)													

(B) ソロ型

ソロ型に応募される場合は、下表に記載してください。

(チーム型に応募される場合には、本項(表を含む)を削除してください。)

研究開発の主なスケジュール (ロードマップ)													
研究開発項目	担当者 氏名	第1年度 (R6年度)			第2年度 (R7年度)				第3年度 (R8年度)				
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
(1) ○○関連遺伝子 発現解析  ・アッセイ系の確立 ・発現データ解析	○○○○ ○○○○	←————→			↑	マイルストーン: ○○○○(○○○)							
(2)													
(3)													
(4)													
(5)													
(6)													



## 7. 各年度別経費内訳

### (1) 委託研究開発費

- チーム型の研究開発課題に応募される方は (A) の表に、ソロ型の研究開発課題に応募される方は (B) の表に記載してください。(記載しなかった表については削除した上で、ご提出ください。)
- 研究開発費 (代表研究機関及び全分担研究機関についての合算) の内訳を記入してください。
- 間接経費は直接経費の 30%以下としてください。

#### (A) チーム型

チーム型に応募される場合は、下表に記載してください。

(ソロ型に応募される場合は、本項 (表を含む) を削除してください。)

(単位：千円)

大項目		中項目	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費							
		消耗品費							
	2. 旅費	旅費							
	3. 人件費 ・謝金	人件費							
		謝金							
	4. その他	外注費							
その他									
小計									
間接経費 (上記経費の 30%目安)									
合計									

各年度の直接経費の上限は、公募要領「2.1 研究開発費の規模・研究開発期間・採択課題予定数等」に記載している通り、公募枠ごとに定められていますので、記載されている金額の上限を超えないようにご注意ください。

## (B) ソロ型

ソロ型に応募される場合は、下表に記載してください。

(チーム型に応募される場合には、本項(表を含む)を削除してください。)

(単位：千円)

大項目		中項目	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費				
		消耗品費				
	2. 旅費	旅費				
	3. 人件費 ・謝金	人件費				
		謝金				
	4. その他	外注費				
		その他				
小計						
間接経費 (上記経費の30%目安)						
合計						

各年度の直接経費の上限は、公募要領「2.1 研究開発費の規模・研究開発期間・採択課題予定数等」に記載している通り、公募枠ごとに定められていますので、記載されている金額の上限を超えないようにご注意ください。

## (2) 研究機関別経費

- チーム型の研究開発課題に応募される方は (A) の表に、ソロ型の研究開発課題に応募される方は (B) の表に記載してください。(記載しなかった表については削除した上で、ご提出ください。)
- 各研究機関の記入欄は、上段に直接経費、下段に間接経費を記載してください。最終行の研究費合計額は、間接経費を含む合計額を記載してください。
- 分担研究機関が3機関以上ある場合は、行を追加してください。

### (A) チーム型

チーム型に応募される場合は、下表に記載してください。

(ソロ型に応募される場合は、本項(下表を含む)を削除してください。)

※各研究機関の記入欄は、上段に直接経費、下段に間接経費(単位:千円)

種別	機関名	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
代表研究機関	上段、直接経費							
	下段、間接経費							
分担研究機関 1								
分担研究機関 2								
研究開発費合計額 (間接経費を含む)								

### (B) ソロ型

ソロ型に応募される場合は、下表に記載してください。

(チーム型に応募される場合には、本項(表を含む)を削除してください。)

※各研究機関の記入欄は、上段に直接経費、下段に間接経費(単位:千円)

種別	機関名	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
代表研究機関	上段、直接経費				
	下段、間接経費				
分担研究機関 1					
分担研究機関 2					
研究開発費合計額 (間接経費を含む)					

## 8. 研究業績

- 「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（概ね一人につき1～15編程度）を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「●」を付してください。
- 特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。この提案課題に直接関連するものについては、「●」を付してください。

### (1) 研究開発代表者 ○○ ○○

#### <論文・著書>

- M. Marusankaku, J. Aaaa, H. Bbbbb, A. Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020, 1, 10-20
- M. Marusankaku, T. Aaaa, A. Bbbbb, T. Ccccc, Risk factors for Fungal……, Nature, 2019, 2, 17-26

#### <特許権等知的財産権の取得及び申請状況>

#### <政策提言>

○○○○○○ガイドライン（○○学会編 XXXX年）

### (2) 研究開発分担者 ○○ ○○

#### <論文・著書>

- M. Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T. Ffff, Study on Hepatitis……, Nature, 2020, 12, 32-40
- M. Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T. Ffff, Study on Malaria……, Nature, 2019, 10, 45-54

(Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例)

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

## 9. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

■本研究開発課題の研究開発代表者及び研究開発分担者の応募時点における、(1) 応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、(2) 採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)、(3) その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

■研究開発分担者がいる場合には、研究開発代表者に加え、研究開発分担者ごとに、全ての研究開発分担者について記載してください。

●研究開発代表者：○○ ○○

e-Rad への提出日を記載し、その時点での情報を記載してください。  
(2) (3) も同様です。

### (1) 応募中の研究費(令和○年○月○日時点)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和6年度の研究経費(直接経費)[期間全体の額](千円)	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
【本研究開発課題】(R6~R0)	○○と△△の関連に関する実験的研究(○○○○)	代表	6,000 [18,000]	20	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 (総額 21,000千円)*
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究(R6~R7・日本学術振興会)	○○と△△の□□への依存性に関する調査研究(○○○○)	代表	3,000 [9,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000千円)*
令和6年度○○財団研究助成金(R6・○○財団)	●●と□□の研究(○○○○)	分担	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

### (2) 採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)(令和○年○月○日時点)

(注: 本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和6年度の研究経費（直接経費）期間全体の額（千円）	エフォート（%）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和3年度〇〇財団研究助成金（R3～R6・〇〇財団）	●●と□□の研究（〇〇〇〇）	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額 5,000 千円）*
〇〇事業（R3～R6・AMED）	●●と□□の研究（〇〇〇〇）	分担	1,000 [5,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

\*（ ）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

### (3) その他の活動

エフォート： 50 %

■ (1) (2) 以外の「その他の活動」のイメージ例

教育 エフォート： 20 %

診療 エフォート： 10 %

社会サービス エフォート： 5 %

その他（学内事務等） エフォート： 15 %

### ●研究開発分担者：〇〇 〇〇

#### (1) 応募中の研究費（令和〇年〇月〇日時点）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和6年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円）	エフォート（%）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
【本研究開発課題】（R6～R〇）	〇〇と△△の関連に関する実験的研究（〇〇〇〇）	代表	6,000 [18,000]	20	（総額 21,000 千円）*

科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 (R6～R7・日本学術振興会)	〇〇と△△の□□への依存性に関する調査研究 (〇〇〇〇)	代表	3,000 [9,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円) *
令和 6 年度〇〇財団研究助成金 (R6・〇〇財団)	●●と□□の研究 (〇〇〇〇)	分担	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

## (2) 採択されている研究費 (実施中の研究費・実施予定の研究費) (令和〇年〇月〇日時点)

(注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	令和 6 年度の 研究経費 (直接経費) [期間 全体の額] (千円)	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和 3 年度〇〇財団研究助成金 (R3～R6・〇〇財団)	●●と□□の研究 (〇〇〇〇)	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円) *
〇〇事業 (R3～R6・AMED)	●●と□□の研究 (〇〇〇〇)	分担	1,000 [5,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

\* ( ) 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## (3) その他の活動

エフォート： 50 %

## 10. これまでに受けた研究費とその成果等

■本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者が、直近の3年間に受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）（※【若手育成枠】に応募される場合は、これまでに受けた全ての研究費）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、(1)【AMED事業】と(2)【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■AMED事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：R 年度～R 年度

課題名：

代表者又は分担者の別：

研究経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

■研究開発分担者がいる場合には、研究開発代表者に加え、研究開発分担者ごとに、全ての研究開発分担者について記載してください。

### ●研究開発代表者：○○ ○○

#### (1) 【AMED事業】

・AMED ○○事業（A）、R3～R5、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円  
××××の成果を得た。

・AMED ○○事業（B）、R1～R5、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円  
××××の成果を得た。

#### (2) 【それ以外の研究費】

・基盤研究（B）、R2～R4、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円  
××××の成果を得た。

### ●研究開発分担者：○○ ○○

#### (1) 【AMED事業】

#### (2) 【それ以外の研究費】



## 1 1. 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

■以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED 事業の研究開発課題において記載を求めるものです。別途、公募要領に特記事項等として条件が付されない限りは、採否に影響ありません。なお、記載内容は今後の AMED 事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

(1) 本研究開発のプロセスの一環として、患者や市民の知見を参考にする予定があれば、その概要を記載してください。(※詳しくは公募要領 12. 1. 2 「医学研究・臨床試験における患者・市民参画 (PPI) の推進」をご参照ください)

### (1) 医学研究・臨床試験における患者・市民参画 (PPI : Patient and Public Involvement) PPI について

※記載に係るポイントは、AMED 公式ウェブサイトをご参照ください

AMED 研究への患者・市民参画 : <https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html>

### (2) キーワード (疾患名以外、10 単語以内)

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例：研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位 (臓器、組織、細胞等)、対象集団 (妊産婦、AYA 世代など)、実験動物等、の具体名)

1. △△計測 2. ○○合成阻害剤 3. ……

### (3) 対象疾患 (10 個以内)

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を 10 個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

1. △△感染症 2. ○○病 3. □□症候群 ……

## 12. 【若手育成枠】（公募枠 1-3, 2-2, 3-3, 4-2）公募対象者チェック欄

■公募枠 1-3, 2-2, 3-3, 4-2 の【若手育成枠】に応募される場合は、下表の当てはまる項目に、必ず☑を入れていただき、☑を入れた項目の下線部を記載してください。下表への記載が無い場合、【若手育成枠】の対象になりませんので、ご注意ください。

研究開発代表者：○○ ○○

<input type="checkbox"/>	満 43 歳未満の者（昭和 56 年 4 月 2 日以降に生まれた者）（生年月日：○年○月○日）
<input type="checkbox"/>	上記以外で、博士号取得後 10 年未満の者（博士号取得日：○年○月○日）
<input type="checkbox"/>	出産・育児により研究に専念できない期間があった場合（育児休業等の期間：○○ヶ月）
<input type="checkbox"/>	介護により研究に専念できない期間があった場合（介護休業等の期間：○○ヶ月）

※ 若手育成枠に応募の研究開発代表者は上記表の当てはまるものに☑を入れてください。なお、上記は令和 6 年 4 月 1 日時点におけるものとしてください。

※ なお、採択後には必要に応じて、出産・育児又は介護の事実及び研究に専念できない期間があったことを証明する関係書類を提出していただく場合があります。

### ※ 応募条件

- ・ 令和 6 年 4 月 1 日時点において、①年齢が満 43 歳未満の者（昭和 56 年 4 月 2 日以降に生まれた者）  
②又は博士号取得後 10 年未満のいずれか高い方を対象とします。
- ・ ③出産・育児又は介護により研究に専念できない期間があった場合は、①あるいは②に当該期間分（最長 2 年。延長の単位は月単位とし 1 月未満の日数は切り上げます（例：研究に専念できない期間が 17 ヶ月 14 日の場合は 18 ヶ月の延長となります。））加算することができます。